

環境課だより

礼「河川一斉清掃」で協力
おありがとうございます

河川環境の保全と美化推進及び、河川愛護思想の向上を図るため、毎年7月を河川愛護月間と定め、各種行事を行っています。

本年も、河川愛護月間における行事の一環として、7月8日に、仁淀川・宇治川河川一斉清掃を実施しました。

当日は、流域住民の方や、各種団体の方など、仁淀川5会場（八田・伊野・波川・鎌田・加田）に360名、宇治川9会場（江尻橋・天神橋・沖田橋・是友橋・県住入口・枝川橋・北浦橋・小田橋・八代公民館）に310名の参加があり、河川の清掃と河川愛護意識の向上・啓発が図られました。

参加していただきました住民の皆様並びに、各種団体の皆様に、紙上をもちまして厚くお礼を申し上げます。

お知らせ
ペットボトル・ボール品の
検査結果について

町から排出されるペットボ

トル（資源ごみ）は、(財)日本容器包装リサイクル協会を通じてリサイクルしています。

このたび、ペットボトルのボール品（圧縮し梱包材で収束された品）の品質検査を、7月4日に再商品化事業所において行いましたので結果をお知らせします。

○分別基準（要旨）

・PET製以外の素材を利用した容器包装等が混入してないこと。

・異物が付着、又は、混入していないこと。

・PET製のふた以外のふたが除去されていること。

・洗浄されていること。

右の判定基準を基本に検査した結果、いの町の総合判定は上から2番目にあたる【B】ランクとなり、今後の品質向上を求められています。

○主な指摘事項

・キャップ・ラベルの混入
・他の素材のボトルの混入
・他のプラスチック容器（トレイ等）の混入

・異物（ガラス瓶等）の混入
・カットされたボトルの混入
指摘事項の改善を図るため、ペットボトルのキャップやラ

ベルは取り除くとともに、他の素材のボトル（塩ビボトル等）や容器・異物等は混入しないようにお願いします。また、PET素材であっても、ペットボトルマークのついていない容器は、容器包装プラスチック類に分類されます。町では、限りある資源を大切にするため、分別収集により資源の有効活用に取り組んでいます。住民の皆様の尚一層のご理解・ご協力をお願いします。



お知らせ
伊野地区廃棄物減量
等推進員意見交換会
を開催しました！

7月17日伊野公民館において、伊野地区廃棄物減量等推進員72名が出席のもと、意見交換会を行いました。意見及び質問の主な内容をお知らせします。

Q 地区外からのゴミの持込みや、分別されていないゴミの放置があり、袋を調べて注意をするとプライバシーの問題が生じ

る、また、置いてあるゴミ袋を開けてゴミを入れる者がいるがその対応はどうしたらよいか。

悪質な持込み等が減らない場合、ステーションの変更をしてみようか。

A 地区外からのゴミの持込みや放置、ゴミ袋へのゴミ入れ・不法投棄などを見かけた場合は車のナンバー等控えるなどして環境課まで連絡をお願いします。環境課で調べ判明した場合は排出者に連絡して指導をします。悪質と判断した場合には、いの警察署とも協議し対処していきます。

ステーションの変更については、地区で協議し新たな場所を選定した上で環境課に届けてください。

Q 河川・道路等に飲食後の容器やキャップ・家庭からのゴミなどが不法投棄されている。マナー意識の向上を図るとともに、防止用看板等の設置ができないか。

A マナー意識向上のための地区別回覧や看板等の設置については、環境課まで問い合わせをお願いします。

Q 粗大ゴミの収集回数を増やせないか。また、粗大ゴミ

の中に収集できない家電4品目（テレビ・冷蔵庫等）が出されている。出し方の周知をしてはどうか。

A 粗大ゴミの収集回数は現状では増やせない。粗大ゴミで回収できないもの等については、広報・回覧等で周知を図っていききたい。

Q まだ使える粗大ゴミ等を再利用するため、フリーマーケットを開いてはどうか。

A フリーマーケットは会場や出品者の問題があり、現状では考えていません。

Q 北浦2区では町内会と子どもエコクラブの協力により、アルミ缶回収、草・小木等の堆肥化を行うなど、ゴミ減量化・環境美化が行われている。町内会のゴミ減量活動等発表の場を作るべきではないか。また、ゴミ減量研究会（仮称）を設置してどうか。

A ゴミ減量活動の発表等については、状況を見ながら検討していききたい。

今後ともゴミの減量・環境美化を推進するため、各地区の推進員さんには積極的な活動をお願いするとともに、町民の皆様のご協力をお願いします。